

第 5 章

第5章 地域別の取組方針



(1) 西彼地域

① 海況の特徴

西彼地域は、長崎半島から西彼杵半島の西岸と離島域で構成され、五島灘に面し、西方向に開いた漁場を有しているため、沖合域は九州西方を北上する対馬暖流の影響を強く受けています。沿岸域では沿岸流との境界に多くの潮目が形成され、変化に富んだ海洋環境となっています。

また、沈降性海岸特有の急深地形が形成されており、急深部より深所は起伏が緩やかとなっています。

② 漁業の現状

沿岸漁業は、イワシ類、アジ類、サバ類等を対象とした中・小型まき網、ヒラメ、イセエビ等の刺網、小型定置網、アマダイ類等のはえ縄、その他の釣り等の漁業が営まれています。養殖業は、ハマチ(ブリ)、トラフグ、クロマグロ等の魚類養殖が営まれています。

長崎漁港には、東シナ海、黄海を漁場とした以西底びき網漁業の基地があり、大中型まき網漁業の水揚げも加わり、多くの魚介類が集荷されており、東アジア向けの鮮魚等の輸出も順調に伸びています。

また、漁港の背後地には加工団地や研究機関が立地しており、生産から流通、加工にいたる水産基

地が形成されています。

個別地域では、新三重漁協管内において、近年ヒトエグサの試験養殖を行い良好な生育が見られたことから、平成22年9月に藻類養殖の免許を取得しており、今後が期待されています。

西海大崎漁協管内では、アワビについて、漁法、操業期間、殻長制限、藻場の造成など総合的資源管理を行っています。

③ 地域の抱える主な課題

沿岸域から沖合にかけ多種多様な漁業が行われていますが、沿岸域においては磯焼け等によりアワビ等磯根資源が減少しており、藻場の維持・回復が必要となっています。また沖合域においては魚礁設置等により資源の更なる維持・増大に努めることが必要です。

漁業経営の悪化、漁業就業者の減少と高齢化等により漁村の活力が低下しており、漁業の協業化・複合化等によって収益性を向上させる新たな取組への支援により漁家経営の改善を図るとともに、新規就業者等への着業支援による担い手の確保が必要です。

長崎魚市場には多種多様な魚種が大量に水揚げされ、近隣に観光地、消費地を抱えている恵まれた立地条件にあることから、これらを活かした更なるブランド製品の開発育成、観光等と連携した消費拡大の取組が必要です。

項目	単位	H10	H15	H20
総生産量	トン	54,233	39,946	47,004
海面漁業	トン	53,788	39,006	46,492
うち大中型まき網漁業	トン	19,996	9,757	×
うち以西底びき網漁業	トン	19,865	8,455	×
うち中・小型まき網漁業	トン	8,315	9,541	13,854
海面養殖業	トン	445	940	512
漁業就業者数	人	2,412	1,487	1,162

(資料：農林水産統計年報、漁業センサス(農林水産省))



釣り体験



伊勢海老

④ 課題解決に向けた取組内容 ※第4章における基本目標に対応して色分けしています。

○資源の減少	→	〈ア〉資源増殖と沿岸環境の保全をめざす漁場づくり
○漁業経営の悪化	→	〈イ〉収益性の高い漁業生産体制の構築
○漁業就業者の減少と高齢化	→	〈ウ〉漁業の将来を担う人材の育成
○消費の低迷	→	〈エ〉付加価値の高いブランド製品の育成強化
○観光等への地域資源の活用不足	→	〈オ〉地域資源の活用による漁村地域の活性化



〈ア〉資源増殖と沿岸環境の保全をめざす漁場づくり

アワビ、イセエビ等磯根資源の増殖を図るため、藻場の維持・回復等の漁場環境・生態系保全活動に対し支援するとともに、沖合漁場における大規模魚礁の設置や沿岸漁場での資源保護・培養のための増殖場設置等を推進します。

指標名	単位	H20(基準年)	H27(目標年)
海面漁業生産量	トン	46,492	46,500

〈イ〉収益性の高い漁業生産体制の構築

漁業の協業化・複合化やまき網漁業等における省エネ・省コスト操業の導入、観光との連携による体験型漁業への参入等により、収益性の改善を図る取組に対し支援します。

指標名	単位	H21(基準年)	H27(目標年)
新技術等の導入に対する支援件数	隻	0	4

〈ウ〉漁業の将来を担う人材の育成

新規漁業就業者の確保・育成を図るため、Iターン等地区外からの新規参入希望者に対する地域情報提供や受入体制の整備とともに、漁家子弟を含めた新規就業者の漁業技術取得への支援や着業時の負担軽減措置、定着のための地域の取組等に対して支援します。

指標名	単位	H17-21累計(基準年)	H23-27累計(目標年)
新規就業者数	人	70	75

〈エ〉付加価値の高いブランド製品の育成強化

平成「長崎俵物」を代表とする水産加工品や、イセエビ、マアジなど地域特産の活鮮魚等について、更なるブランド化を図るため、品質管理や安定供給対策に加えて、販路開拓等の取組を支援します。

指標名	単位	H21(基準年)	H27(目標年)
ブランド製品認定数	品目	61	70

〈オ〉地域資源の活用による漁村地域の活性化

長崎市という観光・消費の一大拠点と、多種多様な水産物が集積する産地拠点市場の長崎魚市場を有する恵まれた立地条件を活かし、市や観光関係団体等が連携して実施する水産物の消費拡大に対する取組を支援します。

指標名	単位	H21(基準年)	H27(目標年)
観光と連携した水産物販売店等の店舗開設数	件	0	2